

特定非営利活動法人

「人間の安全保障」フォーラム HSF主催

東京大学「人間の安全保障」プログラム HSP
東京大学寄附講座「難民移民(法学館)」CDR 共催

DIGNITY
HSF

Human Security Forum



国連

地位

まだ見ぬ未来

就活

社会貢献

名誉

国際協力

社会人経験

国際機関

人道支援

働く意味

内定

自己分析

再チャレンジ

挫折

開発援助

転職

なりたい自分

実際問題

打算

誰かのために

私のために

無力な私

出 会 い は 仕 事 の は じ ま り



世界

理想

現実

年齢

収入

2011/ 12 / 7 (水)

16:30-19:30 @東京大学駒場キャンパス
「理想の教育棟」レクチャーホール

国際協力インターン の集い2011秋

定員先着200名

詳しくは裏面をご覧ください

講演会 16:30-18:00 + 交流会 18:00-19:30

交流会(飲食代をいただきます)は関係団体とインターン希望者のお見合いの場として設定され、簡単な飲み物と軽食を立食形式でお出しします。会場の安全管理のため簡単な事前登録をお願いしています。

ご登録はこちら

<http://hsf.jp>



2011/ **12/7 (水)**

定員先着200名

安全管理のため簡単な事前登録
をお願いしています

16:30-19:30

@東京大学駒場キャンパス「理想の教育棟」レクチャーホール

国際協力インターンの 集い2011秋

インターンとは? 興味のある組織での勤務を通じて業界の現実を知ろうとする活動。原則無給だが、一定期間後に有給スタッフとなる可能性もある。単なる見習いではなく、実際のところ社会へのかなり有力な入り口の一つ。他業界へ進む場合にも貴重な経験としてみなされる。

第一部 講演会「国連と企業とインターン」

16:30-18:00

@「理想の教育棟」レクチャーホール(B1F)

山本芳幸さんは国連の第一線で活躍する上級職員。日本の大学生・大学院生を国連インターンとして受け入れるための制度構築の可能性を探るミッションのため来日中。UNHCRカブール事務所長を経て、現在はNYのUNOPS本部で国連の調達行政に携わる。著書に『カブール・ノート 一戦争しか知らない子どもたち』(幻冬舎、2001年)。

交流会のみの参加も可能です!

第二部 インターン交流会

18:00-19:30

@「理想の教育棟」オープンスペースアリーナ/MMホール(B1F)

インターンを必要とする国際機関やNPO、企業などによるブース展示場(MMホール)が併設された会場(オープンスペースアリーナ)にて、自由な雰囲気の中でインターン希望者に情報収集いただけるよう、座席指定なしの立食形式の交流会として開催されます。参加者の方々には、この機会をフル活用して、積極的にインターンの可能性を探っていただきたいと思ひます。

国際協力や人道支援に関係する活動を展開する都内拠点の団体・企業など15程度の組織からインターン担当者が来場予定です。現在インターン中の方なども含めて、JAR(難民支援協会)、JEN(ジェン)、RQ市民災害救援センター、UNDP(国連開発計画)東京事務所、WB(世界銀行)東京事務所、ADB(アジア開発銀行)東京事務所、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)東京事務所、GC-JN(国連グローバルコンパクト日本)、UNIC(国連広報センター)、HRW(ヒューマンライツ・ウォッチ)、ACC21(アジアコミュニティセンター21)、RHQ(アジア福祉教育財団難民事業本部)などから関係者が来場予定です(その他多様な団体と調整中)。

安全管理のためWebからの事前登録をお願いしています。

ご入力いただく項目は、お名前やご連絡先メールアドレスなどの、ごくわずかな簡単なものです。ご入力いただく情報を本イベントの参加者管理以外に流用することはありません。



の活動は、みなさまのご寄付と会員の方々からの年会費によって賄われています。12/7(水)も会場にて入会を受け付けておりますので、ご関心をお持ちの方はお気軽にお問い合わせ下さい。

講演会登壇者

講演

山本 芳幸さん

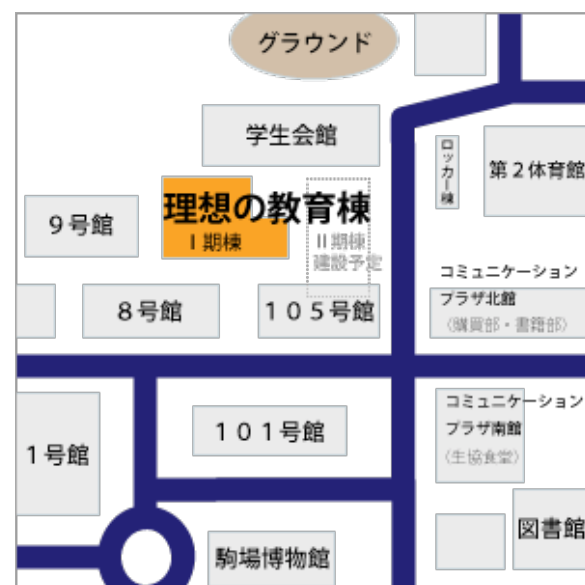
コメンテーター

宮澤 尚里さん

司会

佐藤 安信さん

※ いずれも国連をはじめとする国際機関の最前線での希有な勤務経験を有される方々です。



会場アクセス

最寄駅：京王井の頭線・駒場東大前駅
東大口出ですぐ

交流会の飲食代

¥1,000

学生*/HSF会員**

¥2,000 一般の方

*学生であることがわかるものをお持ち下さい。

**当日入会者にも適用されます



DIGNITY HSF

とは? 東京大学の学生・教員をはじめとする豊富な人的ネットワークと経験を駆使し、市民による「人間の安全保障」の実現に挑み続ける草の根NPO。社会問題に関心を持つ市民に交流の場を提供することにも取り組んでいます。

3月の震災を経た4月の設立以来、前国連大使の高須幸雄理事長指揮の下、宮城県各所の泥かきなどの作業支援のため都内からのボランティア派遣をほぼ毎週末実施。10月には被災者の仮設住宅に「こども未来館」を開設するなど、被災地と東京をつなぐ意識のもと、東日本大震災の被災者を対象とする事業を展開しています。11月にNPO法人として認定。どなたでもご参加いただけます。